

Business Report

# ONNO'S VIEW

第73期 第2四半期のご報告

2020年4月1日～2020年9月30日

小野薬品工業株式会社

証券コード 4528



## Dedicated to Man's Fight against Disease and Pain

### 病気と苦痛に対する人間の闘いのために

当社は、この企業理念のもと、いまだ満たされない医療ニーズに応えるため、真に患者さんのためになる革新的な新薬の創製を目指し、挑戦を続けています。



株主の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご支援、ご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

第73期第2四半期累計期間(2020年4月1日から2020年9月30日まで)につきましては、抗悪性腫瘍剤「オブジーボ点滴静注」は競合品との競争激化の影響を受けたものの、腎細胞がん、胃がんでの使用が堅調に推移したことに加え、食道がんでの使用が拡大しました。また、関節リウマチ治療剤「オレンシア皮下注」や糖尿病治療剤「フォシーガ錠」等の主要新製品が堅調に推移しました。また、ロイヤルティ収入が増加したことで、売上収益は微増収となりました。

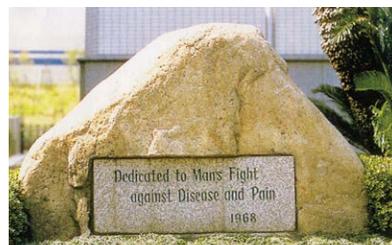
利益面については、新型コロナウイルス感染症の影響による新規治験の開始延期や、実施中の治験の中断などによる研究開発費の減少、営業活動の見直し、自粛に伴い販売費及び一般管理費が減少したことから増益となりました。

新薬創製の成功確率が年々低下し、研究開発コストが増大するなかで、国内においては医療費を抑制するための種々の薬剤費抑制政策が推し進められており、新薬開発メーカーにとっては引き続き厳しい環境が続いています。当社は、研究開発力をさらに高めるとともに、海外での事業展開拡大に向けて、次のとおり取り組んでいきます。

## 成長戦略

製品価値 最大化	積極的な研究開発活動により、早期の上市および効能追加取得を目指すとともに、上市からピークセールス達成までの期間短縮を図ります。また、製品ライフサイクルのステージごとの環境変化を機敏に捉え、常に競争優位性を担保しう戦略立案を実現することにより、各製品のポテンシャルを最大限引き出せるよう取り組んでいます。
研究開発体制 の革新	独自の創薬アプローチ「化合物オリエント」をベースに、医療ニーズの高いがんや免疫疾患、中枢神経疾患、スペシャリティ領域を重点領域に捉えて、医療現場に革新をもたらす新薬の創出を目指します。そのために、特定の研究分野で世界をリードする大学や研究機関、バイオベンチャー企業との研究・創薬提携を強化・拡充し、ファーストインクラスが狙える独自性の高いパイプラインの充実を図ります。医療ニーズの高い分野での革新的な化合物の導入や新技術の獲得も積極的に進めています。
海外への挑戦	自社で生み出した新薬、特に抗悪性腫瘍剤などのスペシャリティ製品を世界中に提供できるよう、海外での自社販売を目指して取り組んでいます。すでに現地法人を設立して自社製品の販売を行っている韓国・台湾に続き、欧米での自社販売を目指して、開発を含めた体制の整備・強化に取り組んでいます。
企業基盤の 強化	企業価値を向上させ、持続的に成長するために、継続的に企業基盤の強化に取り組んでいます。また、さまざまな環境の変化に対応し、グローバル化を牽引できる人材育成や多様性向上を推進するとともに、すべてのステークホルダーに対する社会的責任を果たすべく、Environment（環境）、Society（社会）、Governance（企業統治）への取り組みも強化しています。

わたしたちは、病気で苦しんでいる世界中の患者さんに、医療現場のニーズに沿った革新的な新薬を一日も早くお届けできるよう、一丸となって挑戦を続けていきます。株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



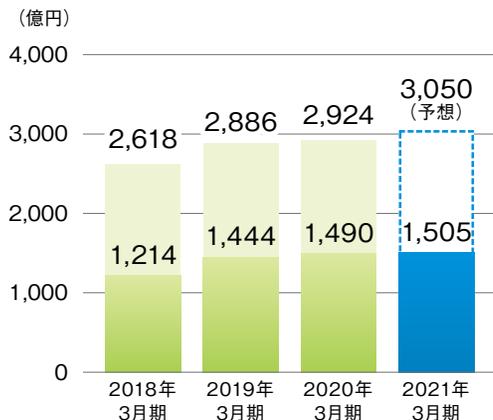
1968年（昭和43年）に中央研究所（現在の水無瀬研究所）の建設を記念して建立された石碑。小野薬品の企業理念がここに刻まれています。

代表取締役社長 **相良 暁**

## 売上収益

**1,505億円** 前年同期比 **1.0%増**

通期 →   
第2四半期累計 → 



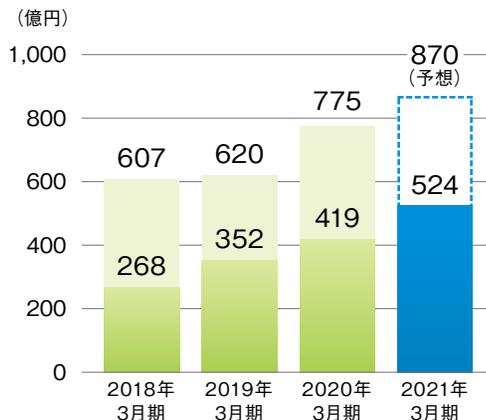
### オプジーボなど、主要新製品の売上増により増収

長期収載品の売上は減少する一方で「オプジーボ点滴静注」、「フォーシガ錠」、「オレンシア皮下注」などの主要新製品の売上は増加しました。ロイヤルティ収入も増加したことにより、当第2四半期累計期間の売上収益は前年同期比15億円(1.0%)増の1,505億円となりました。

## 営業利益

**524億円** 前年同期比 **25.1%増**

通期 →   
第2四半期累計 → 

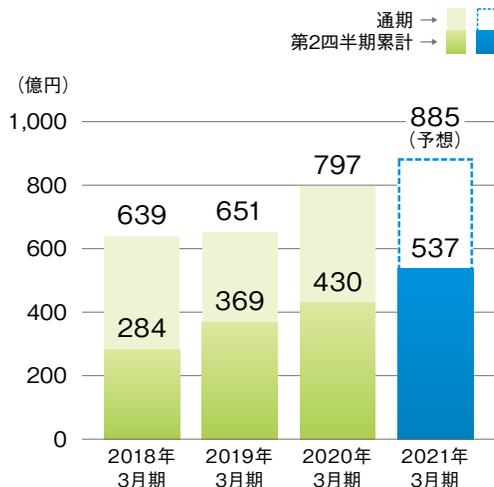


### 売上収益が増加、販売費及び一般管理費が減少したことにより大幅増益

売上収益の増加に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による開発費用や営業活動経費の減少などにより、当第2四半期累計期間の営業利益は前年同期比105億円(25.1%)増の524億円となりました。

## 税引前四半期利益

**537億円** 前年同期比 **24.7%増**



### 金融収支も増加し、 大幅増益

金融収支等が1億円増加の13億円となったことから、当第2四半期累計期間の税引前四半期利益は、前年同期比106億円(24.7%)増の537億円となりました。

## 親会社の所有者に帰属する四半期利益

**398億円** 前年同期比 **21.4%増**



### 税引前四半期利益の増加に伴い 大幅増益

税引前四半期利益の増加に伴い、当第2四半期累計期間の親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比70億円(21.4%)増の398億円となりました。

# 連結業績ハイライト

## 財政状態

(単位:百万円)

	前期末 2020年3月31日	当第2四半期会計期間末 2020年9月30日
流動資産	225,222	226,772
非流動資産	448,222	480,023
資産合計	673,444	706,795
負債合計	105,422	96,197
資本金合計	568,022	610,598
負債及び資本金合計	673,444	706,795

## 損益の状況

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 自2019年4月1日 至2019年9月30日	当第2四半期累計期間 自2020年4月1日 至2020年9月30日
売上収益	149,008	150,474
売上総利益	107,340	108,714
販売費及び一般管理費	△ 33,734	△ 29,817
研究開発費	△ 30,935	△ 25,733
営業利益	41,878	52,401
税引前四半期利益	43,042	53,674
四半期利益	32,915	39,888
親会社の所有者に帰属する四半期利益	32,816	39,849

## 連結持分変動計算書(要旨)

(単位:百万円)

	資本金	資本 剰余金	自己 株式	その他の 資本の 構成要素	利益 剰余金	親会社の 所有者に 帰属する持分	非支配 持分	資本 合計
2020年4月1日残高	17,358	17,229	△44,737	48,030	524,605	562,484	5,538	568,022
四半期包括利益合計	-	-	-	13,904	39,849	53,754	43	53,797
所有者との取引額等合計	-	△20	35	△1,280	△9,950	△11,215	△6	△11,221
2020年9月30日残高	17,358	17,209	△44,702	60,654	554,504	605,023	5,575	610,598

▶より詳しい業績の情報は、当社のIRサイトをご覧ください。 [https://www.ono.co.jp/jpnw/ir/ir\\_library.html](https://www.ono.co.jp/jpnw/ir/ir_library.html)

小野薬品 IR

検索

## キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 自2019年4月1日 至2019年9月30日	当第2四半期累計期間 自2020年4月1日 至2020年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	34,875	31,314
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,681	△ 4,033
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 42,218	△ 12,488
現金及び現金同等物の増減額	△ 4,662	14,793
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響額	△ 247	3
現金及び現金同等物の四半期末残高	55,072	83,800

## 主要経営指標

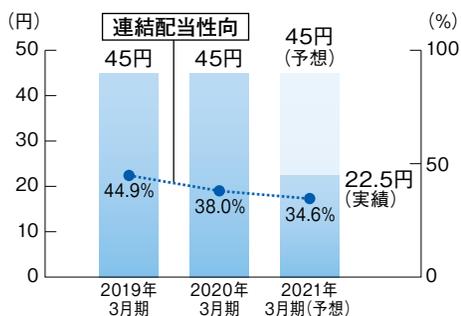
	前期末 2020年3月31日	当第2四半期会計期間末 2020年9月30日
親会社所有者帰属持分比率(%)	83.5	85.6
1株当たり親会社所有者帰属持分(円)	1,126.95	1,212.12

	前第2四半期累計期間 自2019年4月1日 至2019年9月30日	当第2四半期累計期間 自2020年4月1日 至2020年9月30日
基本的1株当たり四半期利益(円)	64.58	79.84

## 中間配当金について

### 〈年間配当実績と当期予想〉



株主の皆さまへの当期の中間配当金につきましては、1株につき22.5円とさせていただきます。なお、当期の期末配当金につきましても1株につき22.5円とし、年間にお支払いする配当金は、1株につき45円を予定しています。

## 主な製品の売上高の状況と見込み

製品名	当第2四半期 売上高(実績) (億円)	対前年同期 増減率	2019年度 売上高(実績) (億円)	2020年度 売上高(見込み) (億円)	対前期 増減率
オプジーボ点滴静注	491	4.8%	873	980	12.2%
グラクティブ錠	130	△2.3%	261	250	△4.1%
フォーガ錠	105	20.5%	181	225	24.6%
オレンシア皮下注	109	8.9%	198	220	11.0%
リバスタッチパッチ	41	△7.0%	85	75	△12.0%
パーサビブ静注透析用	39	11.9%	71	80	13.1%
カイプロリス点滴静注用	35	19.8%	60	70	16.7%
オノアクト点滴静注用	22	△11.2%	49	55	13.1%
オパルモン錠	29	△35.4%	83	50	△40.0%
プロイメンド点滴静注用	13	△1.9%	26	25	△4.8%
イメンドカプセル	15	△67.8%	81	25	△69.1%
オノンカプセル	12	△24.6%	35	25	△27.6%
リカルボン錠	15	△41.3%	47	25	△47.3%
当期新発売品	5	—	—	30	—

## 「オプジーボ®点滴静注」、新たな効能・効果の承認を取得

2020年9月に、抗PD-1抗体「オプジーボ®点滴静注」は抗CTLA-4抗体「ヤーボイ®点滴静注液」との併用療法におけるがん化学療法後に増悪した治癒切除不能な進行・再発の高頻度マイクロサテライト不安定性(MSI-High:microsatellite instability-High)を有する結腸・直腸がんに対する適応拡大の承認を取得しました。今回の承認取得により、国内において「オプジーボ®点滴静注」と「ヤーボイ®点滴静注液」の併用療法が承認された対象がん腫は3つ目となりました。

引き続き、本剤の適応がん腫の拡大を目指し開発を進め、未だ治療手段がなく困っているがん患者さんにご使用いただけるように取り組んでまいります。

## BTK阻害剤「ベレキシブル<sup>®</sup>錠」新発売、および新たな効能・効果の承認取得

2020年5月に、「再発又は難治性の中枢神経系原発リンパ腫」の治療薬としてブルトン型チロシナーゼ(以下、BTK)阻害剤「ベレキシブル<sup>®</sup>錠 80mg」を新発売しました。本剤は、当社が創製した選択性の高い経口BTK阻害剤であり、標準治療が確立していない再発又は難治性の中枢神経系原発リンパ腫の治療薬として世界で初めて承認されたBTK阻害剤となりました。また、2020年8月には「原発性マクログロブリン血症及びリンパ形質細胞リンパ腫」に対する効能・効果の承認も取得しました。さらに、がん領域以外では「天疱瘡」に対する開発も進めています。



## 末梢COMT阻害剤「オンジェンティス<sup>®</sup>錠」新発売

2020年8月に、パーキンソン病患者さんに対する新しい治療薬としてカテコール-O-メチルトランスフェラーゼ(以下、COMT)阻害剤「オンジェンティス<sup>®</sup>錠 25mg」を新発売しました。オンジェンティス<sup>®</sup>錠は、新規の長時間作用型末梢COMT阻害剤で、1日1回の服用となることから患者さんの服薬に

対する負担の軽減や服薬アドヒアランスの向上・維持に貢献することが期待されます。パーキンソン病は運動緩慢、振戦、筋強剛を中心とした運動症状を特徴とする進行性の神経変性疾患であり、本邦での患者数は約16.3万人と推計<sup>\*</sup>されています。

<sup>\*</sup>:厚生労働省大臣官房統計情報部。平成26年患者調査(傷病分類編)2014。



### 短時間作用型 $\beta_1$ 選択的遮断剤「オノアクト<sup>®</sup>点滴静注用」、新たな効能・効果の承認を取得

2020年6月に、当社が創製・開発した短時間作用型 $\beta_1$ 選択的遮断剤「オノアクト<sup>®</sup>点滴静注用50mg/150mg」（以下、オノアクト）について、敗血症に伴う頻脈性不整脈に対する効能・効果の承認を取得しました。敗血症は、感染症によって重篤な臓器障害が引き起こされる状態であり、過剰な交感神経の亢進などにより頻脈性不整脈となることがあります。本剤は、主に心臓に多く存在する $\beta_1$ 受容体を選択的に遮断し、過剰な交感神経の亢進を抑制することで、敗血症に伴う頻脈性不整脈の治療に貢献できるものと期待されます。

### 二次性副甲状腺機能亢進症治療剤「パーサビブ<sup>®</sup>静注透析用シリンジ」、製造販売承認を取得

2020年6月に、血液透析下の二次性副甲状腺機能亢進症の治療薬「パーサビブ<sup>®</sup>」について、既に販売されているバイアル製剤に加え、新たな剤型として「パーサビブ<sup>®</sup>静注透析用シリンジ2.5mg、5mg、10mg」（以下、パーサビブシリンジ）の製造販売承認を取得しました。パーサビブシリンジは、シリンジ内にあらかじめ薬剤が充填されているために速やかな投与が可能になることから、血液透析下の二次性副甲状腺機能亢進症の治療に携わられている医療従事者の方々の負担軽減、感染リスクの低減等に寄与できるものと考えています。

### 「オブジーボ<sup>®</sup>点滴静注」、韓国・台湾で新たな効能・効果の承認を取得

「オブジーボ<sup>®</sup>点滴静注」について、「根治切除不能な進行・再発の食道扁平上皮がん」に対する効能・効果の追加承認を2020年4月に韓国で、2020年6月に台湾で取得しました。韓国、台湾ではいずれも年間約2,600人が新たに食道がんと診断されており、新たな治療選択肢となることを期待しています。

## 売上収益

**3,050億円** 前期比 **4.3%増**

抗悪性腫瘍剤「オプジーボ点滴静注」は、食道がんでの使用拡大や非小細胞肺癌一次治療への参入を見込んでおり、107億円(12.2%)増の980億円を予想しています。また、主要新製品の売上拡大、複数の新製品の発売及びロイヤルティ収入の増加により、通期の売上収益は前期比126億円(4.3%)増の3,050億円を予想しています。

## 営業利益

**870億円** 前期比 **12.3%増**

売上原価は前期比49億円(6.2%)増の840億円と予想しています。研究開発費、販売費及び一般管理費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、それぞれ前期比15億円(2.3%)減の650億円及び7億円(1.0%)減の670億円と予想していることから、通期の営業利益は前期比95億円(12.3%)増の870億円と予想しています。

## 税引前当期利益

**885億円** 前期比 **11.0%増**

金融収支は前期比7億円(32.0%)減の15億円を見込んでおり、通期の税引前当期利益は前期比88億円(11.0%)増の885億円を予想しています。

## 親会社の所有者に帰属する当期利益

**650億円** 前期比 **8.9%増**

通期の親会社の所有者に帰属する当期利益は、前期比53億円(8.9%)増の650億円を予想しています。

# 開発品の主な進捗状況

## 開発品の主な進捗状況

(2020年10月27日現在)

### ■ がん領域の主な進捗状況

製品名(開発コード)/一般名	剤型	予定効能	開発ステージ				地域
			PI	PII	PIII	申請	
オブジーボ点滴静注	注射	食道胃接合部がん及び食道がん	■	■	■	■	日本・韓国・台湾
		肝細胞がん	■	■	■	■	日本・韓国
		膠芽腫	■	■	■	■	日本
		尿路上皮がん	■	■	■	■	日本
		卵巣がん	■	■	■	■	日本・韓国・台湾
		膀胱がん	■	■	■	■	日本・韓国・台湾
		前立腺がん	■	■	■	■	日本・韓国・台湾
		固形がん(子宮頸がん、子宮体がん及び軟部肉腫)	■	■	■	■	日本
		中枢神経系原発リンパ腫/精巣原発リンパ腫	■	■	■	■	日本
		膵がん	■	■	■	■	日本・韓国・台湾
		胆道がん	■	■	■	■	日本
		ウイルス陽性・陰性固形がん	■	■	■	■	日本・韓国・台湾
		ヤーボイ点滴静注*	注射	悪性胸膜中皮腫	■	■	■
非小細胞肺がん	■			■	■	■	日本
頭頸部がん	■			■	■	■	韓国・台湾
胃がん	■			■	■	■	日本・韓国・台湾
食道がん	■			■	■	■	日本・韓国・台湾
尿路上皮がん	■			■	■	■	日本・韓国・台湾
肝細胞がん	■			■	■	■	日本・韓国・台湾
ウイルス陽性・陰性固形がん	■			■	■	■	日本・韓国・台湾

製品名(開発コード)/一般名	剤型	予定効能	開発ステージ				地域
			PI	PII	PIII	申請	
ONO-7643/アナモレリン	錠	がん悪液質	■	■	■	■	日本
ピラフトピカプセル	カプセル	結腸・直腸がん	■	■	■	■	日本
		悪性黒色腫	■	■	■	■	韓国
メクトピ錠	錠	結腸・直腸がん	■	■	■	■	日本
		悪性黒色腫	■	■	■	■	韓国
ONO-7701*/Linrodostat	錠	膀胱がん	■	■	■	■	日本・韓国・台湾
ONO-4686*	注射	固形がん	■	■	■	■	日本
ONO-4482*/Relatlimab	注射	悪性黒色腫	■	■	■	■	日本
ONO-7807*	注射	固形がん	■	■	■	■	日本
ONO-4483*/Lirilumab	注射	固形がん	■	■	■	■	日本
ONO-4578*	錠	固形がん	■	■	■	■	日本
ONO-7475	錠	固形がん*	■	■	■	■	日本
		急性白血病	■	■	■	■	米国
ONO-7911*/Bempegaldesleukin	注射	固形がん	■	■	■	■	日本
ONO-7912/Devimistat	注射	膵がん	■	■	■	■	日本
		急性骨髄性白血病	■	■	■	■	韓国
ONO-7913/Magrolimab	注射	固形がん	■	■	■	■	日本

★「オブジーボ」との併用試験

※がん領域の開発品において、同じ予定効能(がん腫)の場合は、最も進んでいるフェーズ(臨床ステージ)を記載しています。

# 開発品の主な進捗状況

## ■ がん領域以外の主な進捗状況

製品名(開発コード)/一般名	剤型	予定効能	開発ステージ				地域
			PI	PII	PIII	申請	
ONO-5704	注射	変形性関節症	■■■■■				日本
		腱・靭帯付着部症	■■■				日本
オレンシア皮下注	注射	多発性筋炎・皮膚筋炎	■■■■■				日本
オノアクト点滴静注用	注射	心機能低下例における頻脈性不整脈(小児)	■■■■■				日本
ペレキシブル錠	錠	天疱瘡	■■■				日本
ONO-7269	注射	脳梗塞	■■				日本
ONO-4685	注射	自己免疫疾患	■■				日本
ONO-7684	錠	血栓症	■■				欧州
ONO-2808	錠	神経変性疾患	■■				欧州
ONO-2910	錠	末梢神経障害	■■				日本
フオイバン錠	錠	新型コロナウイルス感染症	■■				日本

## 新薬開発の流れ

### 基礎研究

薬になる可能性がある新規物質(有効成分)の発見と創製。天然素材からの抽出や、化学合成、バイオテクノロジーなどの手法を活用して、新規物質を創製します。

### 非臨床試験

薬になる可能性がある物質について、動物や培養細胞を用い、有効性と安全性を調べます。また、その薬物動態や品質、安定性なども調べます。

### 臨床試験(治験)

薬の候補物質(治験薬)について、ヒトに対する有効性と安全性を調べるために行う試験で、通常は3段階に分かれています。健康な人や実際の患者さんを対象に実施されます。

第I相試験(フェーズI:PI)  
健康者による安全性の確認

第II相試験(フェーズII:PII)  
少数の患者さんによる有効性と安全性の確認

第III相試験(フェーズIII:PIII)  
多数の患者さんによる有効性と安全性の確認

### 承認申請と審査

臨床試験で有効性と安全性が確認された後、医薬品医療機器総合機構(PMDA)に承認の申請を行います。その後、学識経験者などで構成する薬事・食品衛生審議会などで審査されます。審査を通過すると、新薬として製造が承認されます。

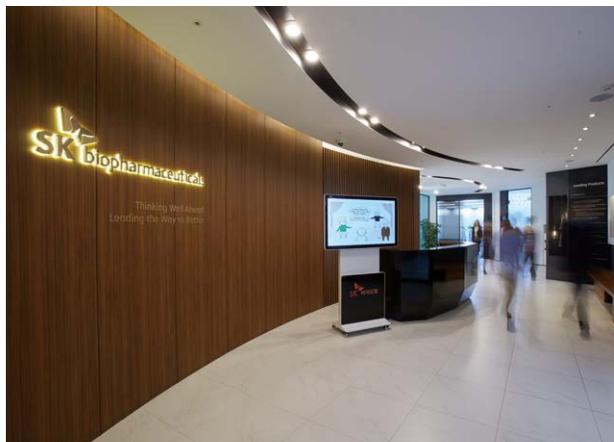
## 提携活動

## ■ SK Biopharmaceuticals社とライセンス契約締結

2020年10月に、韓国SK Biopharmaceuticals社（以下、SKBP社）と、同社が開発中の抗てんかん薬であるCenobamateを日本において独占的に開発および商業化するライセンス契約を締結しました。

SKBP社とその米国子会社であるSK Life Science社は、中枢神経系(CNS)疾患の治療薬の研究、開発および商業化に注力するグローバル製薬企業です。CenobamateはSKBP社が創製し、2019年11月にFDAから「成人におけるてんかん部分発作」の適応で承認され、2020年5月にXCOPRI®の商品名で販売されています。

てんかんは、脳の神経細胞が異常に興奮した結果として発作が引き起こされる慢性的な脳の疾患であり、日本での患者数は約100万人とされています。てんかん患者さんの大部分が長期的な薬物療法を必要としますが、既存の抗てんかん薬を使用しても、約30%の患者さんがてんかん発作を十分にコントロールできていないとの報告があります。てんかんは、今なおアンメット・ニーズの高い疾患であり、Cenobamateが日本のてんかん患者さんの新たな治療選択肢になると期待しています。



SK Biopharmaceuticals社

SKBP社ホームページ：<https://www.skbp.com/eng>

## CSR活動

### ■ 国際イニシアティブ「RE100」に加盟

2020年6月に、当社は事業活動で使用する電力を100%再生可能エネルギーで調達することを目指す国際イニシアティブ「RE100」に加盟しました。RE100(Renewable Energy 100%の略称)は、気候変動対策を推進する国際環境NGOであるThe Climate Groupが、企業に環境影響の情報開示・管理を促している国際NPOであるCDPとのパートナーシップの下で運営する国際イニシアティブです。

当社は、中長期環境ビジョン「Environment Challenging Ono Vision (ECO VISION 2050)」を策定し、製薬業界における環境リーディングカンパニーを目指しており、「脱炭素社会の実現」を重点項目の一つとして、温室効果ガスの自社排出量を2050年度までにゼロにする目標を設定しています。

今回、RE100イニシアティブに加盟したことは目標達成に向けた重要なステップであり、小野薬品グループとして再生可能エネルギー

の調達、利用拡大に向けた取り組みをさらに強化していきます。

RE100

CLIMATE  
GROUP



### ■ 3年連続「FTSE4Good Index Series」および「FTSE Blossom Japan Index」構成銘柄に採用

2020年7月に、当社はESG(環境、社会、ガバナンス)に関する投資指数「FTSE4Good Index Series」および「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に3年連続で採用されました。

「FTSE4Good Index Series」は、ESGを強力に実践する企業のパフォーマンスを測定するために設計されている指数です。「FTSE Blossom Japan Index」は、日本企業の株式で構成される株価指数で、世界最大の年金基金であるGPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)に、ESG投資指数の一つとして採用されています。

当社は、今後も事業戦略にESGの視点を取り入れ、社会の持続的発展に貢献するとともに、持続的な企業の価値向上に取り組んでまいります。



FTSE4Good



FTSE Blossom  
Japan

# 新型コロナウイルス感染症への対応

当社は、社員を含むステークホルダーの皆さまの安全確保と健康維持、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染防止を最優先にし、また、生命関連企業として、医薬品の安定供給、治療薬の研究開発に貢献すべく事業活動に取り組んでおります。（2020年10月27日現在<sup>\*</sup>）

## 1. 医薬品の安定供給について

国内外における医薬品の安定供給は維持されており、当面の当社医薬品の生産および医療機関への供給体制に問題はありません。

## 2. 治療薬等の研究開発への貢献について

慢性膵炎および術後逆流性食道炎の治療薬「カモスタットメシル酸塩」を用いた第I相臨床試験を実施しています。また、国内外の医療機関・研究機関からの要請に基づき臨床研究用製剤を供給しています。

## 3. 医療従事者への情報提供活動について

感染拡大の防止を目的に、医療機関への訪問は自粛していましたが、在宅勤務の環境下でも医療従事者への情報提供、医薬品安全性情報の収集が実施できる体制へ移行しています。2020年6月以降は、影響の少ない地域・医療機関から段階的に営業活動を再開し、Webを活用した面会やリモート講演会の企画など、新たな手段も取り入れながら情報提供活動に臨んでいます。

## 4. 感染拡大防止に向けての取り組み

- ① 医薬品の生産・供給など事業活動に関わる業務を除いて原則在宅勤務としつつ、全国における感染状況を踏まえて全社での出勤率を適宜調整しています。
- ② 出社する社員の安全確保のため、検温、マスクの着用、手洗い・アルコール消毒の励行、ソーシャルディスタンスの確保など最大限の予防措置を講じています。
- ③ 国内出張が必要となる際は感染予防に努め慎重に対応することとし、海外出張については原則禁止としています。
- ④ 講演会、社内・社外研修等についてはWebを優先することとし、対面が必要となる場合は、ソーシャルディスタンスを確保できるよう参加人数の調整を行うなど、感染防止対策を徹底しています。

<sup>\*</sup>なお、最新の対応状況につきましては、右記サイトに掲載しております。<https://www.ono.co.jp/jpnw/covid-19/index.html>

## ■ 会社概要

社名	小野薬品工業株式会社
英文社名	ONO PHARMACEUTICAL CO., LTD.
創業	享保2年(1717年)
設立	昭和22年(1947年)
資本金	17,358,275,607円
事業内容	医療用医薬品を主体とする各種医薬品の研究、開発、製造、仕入および販売
従業員数	3,613名(連結) 3,336名(単体)

## ■ 主要な事業所

本社	〒541-8564 大阪市中央区久太郎町一丁目8番2号 電話 06-6263-5670 〔登記簿上の本店所在地 大阪市中央区道修町二丁目1番5号〕
事業所	札幌、仙台、東京、横浜、名古屋、京都、 大阪、高松、広島、福岡ほか全国主要都市
工場等	フジヤマ工場(静岡県)、山口工場(山口県)、 城東製品開発センター(大阪府)
研究所	水無瀬研究所(大阪府)、福井研究所(福井県)、 筑波研究所(茨城県)
海外子会社	オノ・ファーマ・ユー・エス・イー インク(米国ニュージャージー州) オノ・ファーマ・ユー・ケー・リミテッド(英国ロンドン) 韓国小野薬品工業株式会社(韓国ソウル) 台湾小野薬品工業股份有限公司(台湾台北)

## ■ 役員

代表取締役 取締役社長	相良 暁
取締役 副社長執行役員	栗田 浩
取締役 常務執行役員	小野 功雄
取締役 常務執行役員	辻中 聡浩
取締役 常務執行役員	滝野 十一
社外取締役	栗原 潤
社外取締役	野村 雅男
社外取締役	奥野 明子
常勤監査役	西村 勝義
常勤監査役	藤吉 信治
社外監査役	菱山 泰男
社外監査役	田辺 彰子

# 株式の状況 (2020年9月30日現在)

## ■ 株式数

1. 発行可能株式総数 ..... 1,500,000,000株
2. 発行済株式の総数 ..... 528,341,400株  
(自己株式29,134,557株を含む)

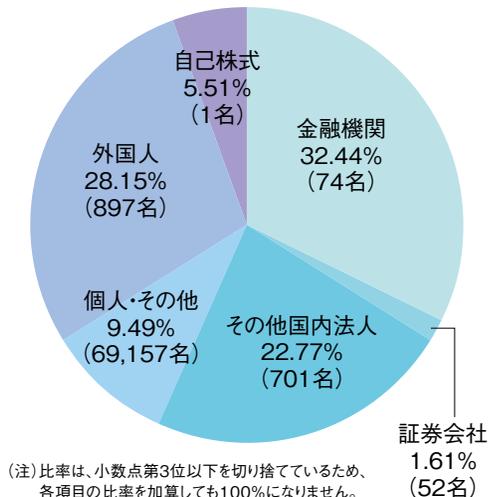
■ 株主数 ..... 70,882名

## ■ 大株主

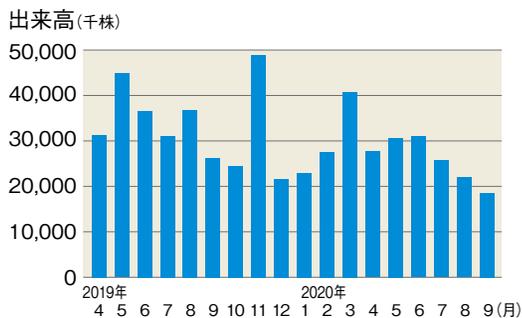
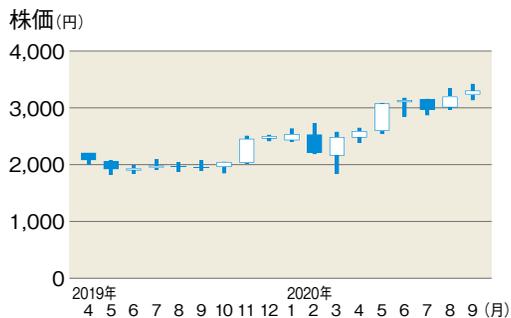
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	43,002	8.61
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	27,050	5.41
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー-505001	21,756	4.35
明治安田生命保険相互会社	18,594	3.72
公益財団法人小野奨学会	16,428	3.29
株式会社鶴鳴荘	16,161	3.23
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	9,577	1.91
株式会社三菱UFJ銀行	8,640	1.73
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	8,313	1.66
株式会社日本カストディ銀行(信託口7)	7,563	1.51

- (注) 1. 当社は自己株式29,134千株を保有していますが、上記大株主には記載していません。  
2. 持株比率は、自己株式(29,134千株)を控除して算出しています。

## ■ 所有者別の株式分布状況



## ■ 株価および株式売買高の推移



# 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
定時株主総会	6月中	および特別口座	三井住友信託銀行株式会社
基準日	定時株主総会・期末配当：3月31日 中間配当：9月30日	の口座管理機関	
公告の方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 公告を掲載するホームページのアドレス <a href="https://www.ono.co.jp/">https://www.ono.co.jp/</a>	株主名簿管理人	大阪府中央区北浜四丁目5番33号
上場証券取引所	東京証券取引所(証券コード4528)	事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株	郵便物送付先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063
		および	
		各種お問合せ先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
		同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 全国本支店

## 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## 未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## 株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きで必要となりますので、株主様のマイナンバーにつきましては、お取引の証券会社等へお届出ください。

### 株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、株主様のマイナンバーは支払調書に記載して税務署へ提出いたします。

- **マイナンバーを記載する主な支払調書**
  - ・配当金に関する支払調書
  - ・単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

### マイナンバーのお届出に関するお問合せ先

- **証券口座にて株式を管理されている株主様**  
お取引の証券会社までお問合せください。
- **証券会社とのお取引がない株主様**  
下記のフリーダイヤルまでお問合せください。  
**三井住友信託銀行株式会社 証券代行部**  
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

ホームページアドレス

<https://www.ono.co.jp/>

